

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 福岡県立あまぎ水の文化村
- 2 指定管理者 : 公益財団法人 あまぎ水の文化村
- 3 指定期間 : 平成29年4月1日～令和4年3月31日
- 4 施設設置目的 : 水源地域の特性を活かした余暇、憩い、学習又は交流の場を県民に提供し、もって水の重要性及び有効利用の増進に対する県民の理解を深めることに寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
 - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果 : 別添のとおり

1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を踏まえ、利用者及び地域住民の声に応える管理運営業務及び自主事業を行う。 県、市施設の一体的な運用と、県、朝倉市との施設利用や地域活性化に関する意見交換により、施設の効用を最大限に発揮し、施設利用を効果的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで蓄積した地域とのネットワークや事業実施のノウハウを活かし、地元関係団体等とも連携し、効果的な事業展開を図っている。 県民にとっての森林、水辺の憩いの場として、家族連れの利用を中心に、学校遠足やデイサービスの休養場所等、幅広く利用されるよう、施設設備の安全と美観の保持に努めている。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設の効用を高めるとともに利用の促進を図るため、利用者サービスに関する事業や、自然環境保全の意識向上に関する事業、水源地域の活性化に関する事業等を実施する。 <p>（目標：入場者数 50,000 人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児のミルク用のお湯の提供やホームページ上でのイベント応募受付を行うなど、利便性・サービスの向上に努めている。 職員による丁寧な案内、誘導や車椅子の貸出など、利用者に配慮したサービスに努めている。 新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの乾式床転換改修を行った。また、サーモカメラ・空気清浄機・手指消毒液等を設置するとともに、ロッカー、車椅子などは消毒を徹底し貸出を行っている。 利用者ニーズを把握するためのアンケートを実施し、広聴活動の充実を図っている。 イベント時の駐車場混雑緩和、利便性の向上のため、せせらぎ館東側の駐車場整備工事を実施し、85台分の駐車スペースを増設した。 <p>〔 県施設入場者数：26,350人（対前年度 △47.7%） 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> うきは市と朝倉市にある5つのダムカードを配付するイベント「ダム巡礼」に参加し、せせらぎ館で朝倉市内にある3つのダム（寺内、江川、小石原川）カードを配布した。 新型コロナウイルス感染症対拡大防止のため大規模イベントを中止する一方、工夫を凝らした自主事業を展開している。一例として、西野亮廣氏の絵本「えんとつ町のプペルバス」の複製原画を車内で展示するラッピングバスをチャーターし、朝倉市内の保育所、図書館他計28施設を訪問した。 <p>〔 自主事業数：7事業（対前年度 △3事業） 参加者数：5,248人（対前年度 △60.9%） 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験教室（いもほり体験） 旗争奪小学生ソフトボール大会 第26回あさくらカップジュニアサッカー大会 フォークソング野外コンサート 「えんとつ町のプペル 光る絵本展」プペルバス ライトアップあ！さくら～水灯桜～ 展示（お雛様飾り） <ul style="list-style-type: none"> 水や森林の環境について楽しく学べるよう、朝倉市立図書館のブックリサイクルを活用し、ライブラリーコーナーの書籍や絵本の拡充を図るとともに、啓発パネルを展示している。 ホームページの内容更新を適宜行うとともに、SNSへの四季折々の風景やイベント情報の掲載、朝倉市全域のコミュニティセンターへのパンフレットの配布など、効果的、積極的な広報活動を実施している。

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画書に基づき効率的な施設運営に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設維持管理において、直営が効率的であるものは外部委託を行わず、財団職員による管理運営を行い、計画的かつ効率的な事業運営に努めている。 県委託料（指定管理料）0円（対前年度±0%、対H17年度（制度導入前）±0%） ・収支改善のため、7月1日からウォーターパレットの利用料金の徴収を開始した。 利用料金収入 1,194,600円
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な事業実施、業務運営を行い、財団の健全な財政基盤を維持。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本財産の適切な運用による資産管理を行うとともに、施設管理の一部を財団職員が行うなど経費節減に努め、安定した経営を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> ・法及び県条例に沿った厳正な個人情報の管理を行う。情報公開についても県及び市条例及び規則に基づき適正に行う。 ・県施設の消防計画に基づいた防災教育や訓練を行い、防火・防災意識の高揚に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財団において策定した個人情報保護規程及び情報公開規程に基づき、個人情報の保護、情報公開の推進に努めている。 ・施設設備の維持、補修に加え、消防用設備の定期点検や防災訓練を行い、利用者が安全・安心に施設を利用できるように努めている。

2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対拡大の影響により大規模イベントが中止となり、利用者数は減少したものの、感染症拡大防止対策を講じた上で、工夫を凝らした自主事業を展開し、施設利用及びサービスの向上に努めている。 ・水や自然環境について学ぶ機能の充実を図るとともに、水源地域の特性を活かしたイベントの開催、積極的な広報活動を行い、施設利用及びサービスの向上に努めている。 ・県民の余暇、憩い、学習又は交流の場として、だれもが快適に施設を利用できるよう、施設設備の適切な管理を行い、安全と美観の保持に努めている。 <p>以上のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---	---